（様式1－2）

**日本医療研究開発機構　次世代がん医療加速化研究事業**

**令和６年度２次公募****戦略的研究（革新的基礎研究）　研究開発提案書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究開発課題名（英語表記） | 日本語表記 | ○○に関する研究開発 |
| 英語表記 | Study of ○○ |
| 公募名（事業名） | 次世代がん医療加速化研究事業　令和6年度２次公募戦略的研究枠（革新的基礎研究） |
| 研究開発期間（全研究期間） | 令和XX年 X月 X日 ～ 令和 XX年 X月XX日（X年間） |
| 研究費総額（直接経費） | 全研究期間での研究費総額（　X0.000千円） |
| ヒト全ゲノムシークエンス解析※ | [ ]  実施する 　　 [ ]  実施しないいずれかに☑をし、実施する場合にはヒト全ゲノムシークエンス解析、全エクソームシークエンス解析プロトコール様式を提出。 |
| 希少がんへの該当 | [ ]  希少がんを対象とする研究である（主たるがん種名：○○○）該当する場合は☑をつけてください。本公募における希少がんの定義については、公募要領を参照してください。 |
| がん研究と融合する分野 | ☐　1.物質工学 　☐　2.遺伝子工学 ☐　3.再生医学 ☐　4.核医学 　☐　5.情報科学（AI） ☐　6.数理科学（含データサイエンス、数理モデル）☐　7.上記以外の分野（ ） |
| 研究開発代表者 | 氏　名 | フリガナ | ○○○○　○○○○ |
| 漢　字 | ○○　　　○○  |
| ローマ字表記 | Yyyy Yyyyyy |
| 性　別 | [ ] 男　 [ ] 女　 [ ] その他　 [ ] 回答したくない |
| 生年月（年齢） | 19XX年XX月（XX歳：令和６年４月１日時点） |
| 所属機関（正式名称） | ○○法人○○大学 |
| 住所 | 〒XXX-XXXX ○○県○○市○○町・・・・ |
| 電話番号 | XX-XXXX-XXXX |
| E-mail | YYY@YY.jp |
| 所属部署（部局） | ○○学部○○学科 |
| 役　職 | ○○ |
| 経理事務担当者氏名 | ○○　○○ | 経理担当部署（部局）・連絡先等 | ○○大学管理部○○課電話番号：XX-XXXX-XXXX E-mailアドレス：YYY@YY.jp |

* 全ゲノムシークエンス及び全エクソームシークエンスが対象

注 提出する際には、青文字の記載例と緑色吹き出しの説明文を削除してください。

**要約（和文）**

■A4縦1,000字以内

■以下に関して、概要を記載してください。

背景：今の状況がどのようで、何が求められているのか

目的：背景を受け、本課題を実施する目的

方法の概略：がんの生物学の専門家と異分野領域の専門家とがチームを形成して、どのような方法を用いて、どのように研究を実施し問題を解決するか

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

この欄に記載した内容について、e-Rad応募情報登録　基本情報　研究概要の記入欄へ転記（コピー）してください。

# 研究の目的・背景

・評価者が理解しやすいように、必要に応じて図や表を用いて記載してください。

・3ページ以内で下記について記載してください。

## 研究目的

研究の目的について、1,000字以内で、具体的かつ明確に、評価者が理解しやすいように、記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

この欄に記載した内容について、e-Rad応募情報登録　基本情報　研究目的の記入欄へ転記してください。

## （２）基本構想

**下記の①研究の背景、②研究開発の目標・ねらい・準備状況について**

**がん研究の専門家だけでなく複数の専門家がチームを形成して革新的な医薬品の創生に資する基礎的研究を推進するために、どのような学問領域の融合による体制で提案されているか、また予想される効果がわかるように具体的かつ明確に記載してください。必要があれば、図や表（字数には含まず）を用いても構いません。**

### 研究開発の背景

　本研究に関連する国内・国外の研究開発動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯について、本研究開発の重要性・必要性が明らかとなるよう、科学技術上の要請、社会的要請や経済、産業の要請および、当該分野や関連分野の動向等を適宜含めて記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

### 研究開発の目標・ねらい・準備状況

　研究開発の目標（研究開発期間終了時に達成しようとする、研究開発成果の目標）、研究開発のねらい（上記研究開発成果によって得られるアウトカム及びその意義）、研究開発の準備状況（これまでに進めている研究内容等）を具体的に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

# 研究計画・方法

* 「研究の目的・背景」に記載したことを達成するための具体的な研究計画及び方法を1,600字以内で記載してください。
* **研究開発担当者※は、がんの基礎研究分野または異分野技術の研究者のいずれかを研究代表者に、もう一名は研究開発分担者（もう一方の研究分野を統括する責任者）に設定し、専門知識を融合するチームを編成して研究を進める必要がありますので、これらが分かるように「研究開発代表者」および「研究開発分担者」の具体的な役割を明確に記載してください。**

**※　複数（３名以上）の研究開発担当者で構成される場合は、研究分野を統括する責任者が分かる様に整理して記載してください。**

* **複数年度（3年度以内）にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係がわかるように記載してください。**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。（ここまでを1,600字以内）

**研究開発担当者**

* 研究開発代表者および全ての研究開発分担者の機関名、氏名、分担研究開発課題名をご記載ください。人数に応じて適宜記載欄を追加してください。分担研究開発課題名には本課題での主な担当内容を記載してください。研究開発項目名と同じでも構いません。５．実施体制図の分担研究開発課題名と同一の記載をお願いいたします。

**※　複数（３名以上）の研究開発担当者で構成される場合は、研究分野を統括する責任者が分かる様に整理して記載してください。**

* 研究代表者には名前の最後に◎、研究開発分担者（がんの生物学以外の研究を統括する責任者）には○をつけてください。研究を統括する責任者以外の研究開発分担者へは印は不要です。

### 研究開発代表者 機関名　氏名：

分担研究開発課題名：

### 研究開発分担者 機関名　氏名：

分担研究開発課題名：

### 研究開発分担者 機関名　氏名：

分担研究開発課題名：

**研究開発項目別**

* 研究の目的・背景（２）基本構想　➁研究開発の目標・ねらい・準備状況」を達成するための研究開発のマイルストーン（研究開発期間中の研究開発の到達点とその達成度の判断基準）および研究開発方法を、研究開発項目毎・年度毎に分けて、適宜論文を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確に、5ページ以内で記載してください。
* 研究開発項目は、「６．研究開発の主なスケジュール」に記載のものと同一にし、整合をとってください。
* 研究開発項目名に続けて、担当者（機関名、氏名）を記載してください。

担当者が複数いる場合は、全員の名前を記載してください。また、研究開発方法にはそれぞれの担当者の役割がわかるように記載してください。

* 各研究開発項目について、AMEDで支援予定の期間を超える計画については、〇〇年度以降としてまとめて簡潔かつ明確に記載してください。
* 研究開発項目（３）以降がある場合は、研究開発項目の記載欄を追加して続けて記入してください。
* 研究代表者には名前の最後に◎、研究開発分担者（がんの生物学以外の研究を統括する責任者）には○をつけてください。研究を統括する責任者以外の研究開発分担者へは印は不要です。

研究開発項目（１）：○○○○○○○○○○○○○○

【担当者】

機関名　氏名：

令和６年度

## マイルストーン：○○○○○○○○○○○○○○○○○○を終了する（令和７年３月）

研究開発方法：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

令和７年度

マイルストーン：○○○○○○○○○○○○○○○○○○を終了する（令和８年３月）

研究開発方法：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

令和８年度

マイルストーン：○○○○○○○○○○○○○○○○○○を終了する（令和９年３月）

研究開発方法：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

研究開発項目（２）：○○○○○○○○○○○○○○

【担当者】

機関名　氏名：

令和６年度

## マイルストーン：○○○○○○○○○○○○○○○○○○を終了する（令和７年３月）

研究開発方法：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

令和７年度

マイルストーン：○○○○○○○○○○○○○○○○○○を終了する（令和８年３月）

研究開発方法：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

令和８年度

マイルストーン：○○○○○○○○○○○○○○○○○○を終了する（令和９年３月）

研究開発方法：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

# 研究の将来展望

* 本研究開発構想が達成された場合に期待される、社会貢献・新産業創出・科学技術イノベーション創出等について、想定し得る範囲で600字程度で記述してください。
* 本研究課題が終了した後に、どの事業への展開を考えているか、将来的にどのような治療法開発を目指しているのかについて簡潔に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

# 研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報

* 研究代表者には名前の最後に◎、研究開発分担者（がんの生物学以外の研究を統括する責任者）には○をつけてください。研究を統括する責任者以外の研究開発分担者へは印は不要です。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属機関※1 | 専門分野 | 令和6年度研究経費※２（千円） | エフォート（％） |
| 生年月（年齢:令和6年4月1日時点） | 所属部署（部局）※1 | 学位（最終学歴）学位取得年 |
|  | 役職※1 | 役割分担 |
| 研究開発代表者 | ●●　●●　○ | ●●大学 | 分子腫瘍学 | X,XXX | XX |
| S49/11（XX） | ▲▲▲学部▲▲▲学科 | △△博士（○○大学）H14年 |
|  | ▲▲▲ | 研究の統括培養細胞での薬効評価 |
|  |  | （主たる研究場所）※1▲■大学 |  | X,XXX | XX |
| ■■■学部■■■学科 |
| ■■■ |
| 研究開発分担者 | ■■　●●　△ | ▲■大学 | 人工知能 | X,XXX | XX |
| S50/11（XX） | ■■■学部■■■学科 | ○○博士（□△大学）H15年 |
|  | ■■■ | タンパク質相互作用モデル作成の統括 |
|  |  | （主たる研究場所）※1△□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 | ▲▲　■■ | △□大学 | 人工知能 | X,XXX | XX |
| S50/11（XX） | △△△学部△△△学科 | ○○博士（□△大学）H15年 |
|  | □□□ | 非線形モデルに基づくデータのタンパク質相互作用モデルの作成 |
| 計　2名 | 研究開発経費合計 | X,XXX |  |

※1　所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所となる研究機関、所属部署（部局）及び役職も記載してください。

※2　研究経費については、直接経費を記載してください。

# 実施体制図

* 代表機関、分担機関の組織（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載してください。
* 研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください（研究開発代表者、研究開発分担者（**研究分野を統括する責任者**）、研究開発分担者（在る場合）、その他（必要に応じて協力企業、主な外部委託先等について分かるように記載してください）。
* 研究代表者には名前の最後に◎、研究開発分担者（がんの生物学以外の研究を統括する責任者）には○をつけてください。研究を統括する責任者以外の研究開発分担者へは印は不要です。

【体制図記載例】

角丸四角形：大学等

楕円：企業

長方形：AMED

点線矢印：契約

二重矢印線：試料・情報等のやり取り、

分担

**研究開発代表者**

所属（及び主たる研究場所）

氏名

分担研究開発課題名

「○○○○○○」

AMED

研究開発分担者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担研究開発課題名

「○○○○○○」

**研究開発分担者（研究を統括する責任者）**

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担研究開発課題名

「○○○○○○」

解析

データ提供

試料の提供

加工

# 研究開発の主なスケジュール

* 「２．研究の目的・背景」に基づいて研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。
* 項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。

※１頁以内で記載してください。

* 別途Excelで作成した表を貼り付けていただいてもかまいません。なお、PDF化したときに矢印等がずれてしまうことがありますので、PDF化後に必ずご確認ください。
* 研究代表者には名前の最後に◎、研究開発分担者（がんの生物学以外の研究を統括する責任者）には○をつけてください。研究を統括する責任者以外の研究開発分担者へは印は不要です。

|  |
| --- |
| **研究開発の主なスケジュール（ロードマップ）** |
| 研究開発項目 | 担当者氏名 | 第1年度(R6年度) | 第2年度(R7年度) | 第3年度(R8年度) |
| 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| （1） 〇〇関連遺伝子発現解析・アッセイ系の確立・発現データ解析 | 〇〇〇〇〇〇〇〇 |  | ▲マイルストーン：○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （2）  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （3） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （4） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （5） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （6） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

# 各年度別経費内訳

【全体】

**各年度別経費内訳** （単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%目安） |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

※間接経費は直接経費の30％を超えることは出来ません。

【代表機関】

研究開発代表者の所属機関（研究開発代表者と同じ研究機関に所属する研究開発分担者の研究開発費も本表に含む）

**各年度別経費内訳**

機関名：○○大学　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%目安） |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

※間接経費は直接経費の30％を超えることは出来ません。

【分担機関】

研究開発分担者の所属機関が複数ある場合には、以下をコピーして機関ごとに作成してください。

**各年度別経費内訳**

機関名：○○大学　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%目安） |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

※間接経費は直接経費の30％を超えることは出来ません。

# 研究業績

* 「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの**（概ね一人につき10編以内）**を選択し、直近年度から順に記載してください。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「●」を付してください。
* 特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記載してください。

## （1）研究開発代表者　○○　○○

＜論文・著書＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

＜政策提言＞

○○○○○○ガイドライン（○○学会編　XXXX年）

## （2）研究開発分担者　○○　○○

＜論文・著書＞

●M.Kakukaku, T.Dddd, A.Eeee, T.Ffff, Study on Hepatitis…………, Nature, 2020,12,32-40

M.Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T.Ffff, Study on Malaria………, Nature, 2019,10,45-54

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

＜政策提言＞

○○○○○○ガイドライン（○○学会編　XXXX年）

（Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例）

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

Atomic spin resonance in a rubidium beam obliquel

# 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

* 本研究開発課題の研究開発代表者の応募時点における、（1）応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、（2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、（3）その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。
* 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。
* 「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

## 研究開発代表者：○○　○○　　　研究開発分担者がいる場合は、以下をコピーして作成して下さい

## （1）応募中の研究費（令和６年４月１９日時点）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割（代表・分担の別) | 令和6年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 【本研究開発課題】申請者本人への配分予定額（直接経費）（R5～R7） | ○○と△△の相関に関する実験的研究（○○○○） | 代表 | 6,000[18,000] | 20 | （総額　21,000千円）\*研究開発課題全体（直接経費）の総額例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R5～R6・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額） | 代表 | 3,000[9,000] | 10 | この研究は▲▲を行う研究で、本研究とは目的、内容が異なる。（総額　9,000千円）\* |
| 令和5年度○○財団研究助成金（R5・○○財団） | 上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[1,000] | 5 | この研究は▲▲を行う研究で、本研究とは目的、内容が異なる。 |

## （2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和●年●月●日時点）

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割（代表・分担の別) | 令和6年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 令和3年度○○財団研究助成金（R3・○○財団 | ●●と□□の研究（○○○○） | 代表 | 1,000[1,000] | 5 | この研究は▲▲を行う研究で、本研究とは目的、内容が異なる。（総額　5,000千円）\* |
| ○○事業（R3～R5・AMED） | ●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[5,000] | 10 | この研究は▲▲を行う研究で、本研究とは目的、内容が異なる。 |

　\*　（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

## （3）その他の活動

エフォート：　50　％

# これまでに受けた研究費とその成果等

**（１）研究立案に寄与した成果とその研究費**

* 本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（１）【AMED事業】と（２）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。
* 次世代がん医療加速化研究事業（P-PROMOTE)/次世代がん医療創生研究事業(P-CREATE)およびその他のAMED事業、並びにそれ以外の研究費は区別して記載してください。
* それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果も簡潔に記載してください。

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：H 年度～H 年度

研究開発課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の別：

研究開発経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

**（記載例）**

### 【次世代がん医療加速化研究事業（P-PROMOTE)/次世代がん医療創生研究事業(P-CREATE)】

（１）AMED　次世代がん医療加速化研究事業、R3～R4、「○○に関する研究」、代表者、10,000千円

××××の成果を得た。

（２）AMED　次世代がん医療創生研究事業、H30～R1、「○○に関する研究」、分担者、10,000千円

××××の成果を得た。

### 【その他のAMED事業】

（１）AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

（２）AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

### 【それ以外の研究費】

（３）基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

## （２）上記以外に研究費補助等を受けた過去の実績（過去３年度分）

研究開発代表者が過去に受けたことがある、本研究の立案に生かされているもの以外の研究費についてご記入ください。

（記載例）

### 【次世代がん医療加速化研究事業（P-PROMOTE)/次世代がん医療創生研究事業(P-CREATE)】

（１）AMED　次世代がん医療加速化研究事業、R2～R4、「○○に関する研究」、代表者、10,000千円

××××の成果を得た。

（２）AMED　次世代がん医療創生研究事業、R1～R3、「○○に関する研究」、分担者、10,000千円

××××の成果を得た。

### 【その他のAMED事業】

（１）AMED　○○事業（A）、R1～R3、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

（２）AMED　○○事業（B）、H30～R2、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

### 【それ以外の研究費】

（３）基盤研究（B）、H30～R2、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和３０年法律第１７９号、平成14年12月13日改正）第１８条第１項の規定により補助金等の返還が命じられた過去１０年間の事業について、該当する場合には記入してください。

【研究開発代表者】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 年度 | 研究事業名 | 研究課題名 | 補助額 | 返還額・返還年度 | 返還理由 | 所管省庁等 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|

【研究開発分担者】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 年度 | 研究事業名 | 研究課題名 | 補助額 | 返還額・返還年度 | 返還理由 | 所管省庁等 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|

## （３）企業との共同研究の有無

本提案内容について企業との共同研究がある場合は、その連携状況等について記載して下さい。

共同研究先企業名、連携状況等記載

# 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED事業の研究開発課題において記載を求めるものです。なお、今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

1. 研究開発成果の実用化は、人類の福祉向上に資する一方、関係法令・倫理規範への適合や社会への受容が不可欠です。そのため、可能な限り早い段階から研究開発に関する倫理的・法的・社会的課題（ELSI：Ethical, Legal and Social Issues）を把握し、社会との間で論点の共有や対話を行うこと等により、研究開発からその成果の社会実装までを円滑に進めることが可能になると考えています。
2. 本研究開発課題において、研究開発及びその成果の社会実装に至るまでの倫理的・法的・社会的側面からの懸念やリスクについて記載してください。
3. 本研究開発課題において、研究開発の質向上と社会のニーズを満たす成果創出のため、患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組・方針等について記載してください。（※詳しくは公募要領第12章1項「医療研究開発の「社会共創」の推進」を参照）
4. 本研究で得られたデータについて、データベースへの登録やデータシェアリングを予定している場合には、その概要を記載してください。
5. 国内の子会社から国外の親会社に本研究開発課題の成果の承継を予定している場合は、その概要を記載してください。
6. **遵守すべき研究に関係する指針等**

研究開発の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当する全ての指針等の「□」にチェックを入れてください。

[ ] 　下記の法令・指針等「該当なし」

[ ] 　臨床研究法

[ ] 　医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令

[ ] 　医療機器の臨床試験の実施の基準に関する省令

[ ] 　再生医療等の安全性の確保等に関する法律

[ ] 　遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律

[ ] 　人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針

[ ] 　遺伝子治療臨床研究に関する指針

[ ] 　研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針

[ ] 　その他の指針等（指針等の名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※　提案課題が計画する内容について、上記指針に関する所属機関での審査結果が分かる書類が求められる場合があります。

1. **医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI：Patient and Public Involvement）PPIについて**

※記載に係るポイントは、AMED公式ウェブサイトをご参照ください

AMED研究への患者・市民参画：https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html

1. **キーワード（疾患名以外、10単語以内）**

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(例：融合するがん研究以外の分野、研究手法・技術、モダリティ、生命現象、対象部位（臓器、組織、細胞等）、対象集団（妊産婦、AYA世代など）、実験動物等)

1.情報科学　　2.Artificial Intelligence (AI)　　3.　．．．．．．

1. **対象がん種**

研究対象のがん種について、該当するものに☑を入れ、主要ながん種名を10個以内で記載してください。

[ ] 希少がん　[ ] 難治性がん　[ ] その他

（主要ながん種名：1.△△　　2.○○　　3.□□．．．．．．）

1. **対象疾患**

がん以外の対象となる疾患がある場合記載してください。

## ○○○

# 若手研究者のチェック欄

研究開発代表者または研究開発分担者に若手に該当する研究者がいる場合にはご記載ください。

研究開発代表者名：○○　○○

|  |  |
| --- | --- |
|  | 満43歳未満の者（昭和56年4月2日以降に生まれた者） |
|  | 上記以外で、博士号取得後10年未満の者（博士号取得日：○年○月○日） |
|  | 出産・育児により研究に専念できない期間があった場合（育児休業等の期間：○○ヶ月） |
|  | 介護により研究に専念できない期間があった場合（介護休業等の期間：○○ヶ月） |

研究開発分担者名：○○　○○

|  |  |
| --- | --- |
|  | 満43歳未満の者（昭和56年4月2日以降に生まれた者） |
|  | 上記以外で、博士号取得後10年未満の者（博士号取得日：○年○月○日） |
|  | 出産・育児により研究に専念できない期間があった場合（育児休業等の期間：○○ヶ月） |
|  | 介護により研究に専念できない期間があった場合（介護休業等の期間：○○ヶ月） |

* 若手研究者の定義に当てはまる研究開発代表者・研究開発分担者全員について、上記表の当てはまるものにチェックを入れてください。
* 必要な場合は枠を適宜増やしてください。
* なお、採択後には必要に応じて、出産・育児又は介護の事実及び研究に専念できない期間があったことを証明する関係書類を提出していただく場合があります。
* 若手研究者の定義

・令和6年4月１日時点において、①年齢が満43歳未満の者（昭和56年4月2日以降に生まれた者）　　②又は博士号取得後10年未満のいずれか高い方を対象とします。

・③出産・育児又は介護により研究に専念できない期間があった場合は、①あるいは②に当該期間分（最長2年。延長の単位は月単位とし1月未満の日数は切り上げます（例：研究に専念できない期間が17ヶ月14日の場合は18ヶ月の延長となります。））加算することができます。

# 研究構想図

柔軟かつ独創的な発想に基づく新たなアプローチの研究内容について、1ページに図としてまとめて下さい。